

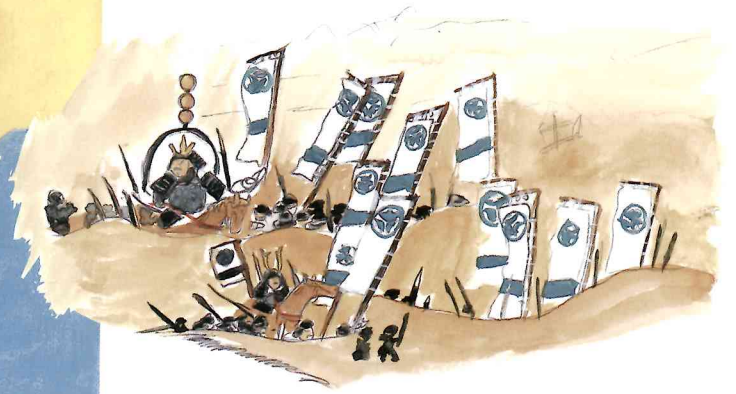
かめの じょうもの がたり  
亀之丞物語

いちだ さと たかもりまち そだ かめのじょう れきし  
市田の郷(高森町)で育った亀之丞が歴史をつなげる



井伊谷(今の静岡県浜松市)は、  
古い時代から人が住む豊かな地域で  
あり、井伊氏が治めていました。

戦国時代になると、井伊氏は  
大きな力を持つ戦国大名に囲まれて  
いて、今川氏に従っていました。



井伊家22代目の直盛には

かわいらしい姫がいました。

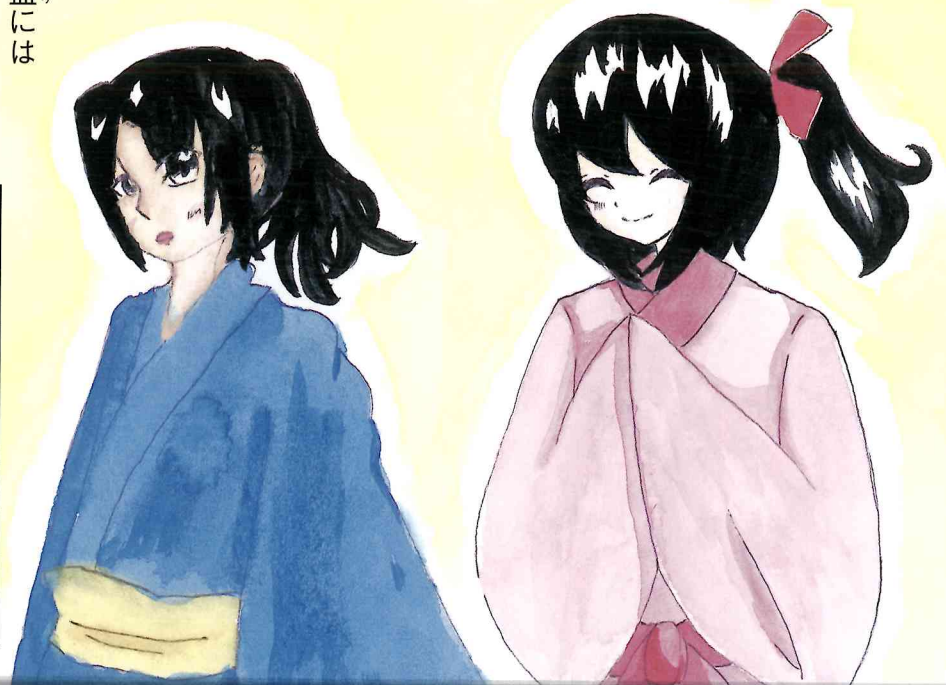
姫と亀之丞は、将来の結婚を

約束した「いいなずけ」でした。

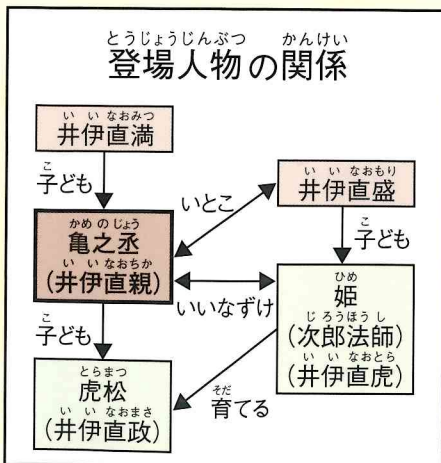
ふたりは幼なじみとして仲良く

過ごすうちに、ほんのりとした

恋心を感じるようになります。



登場人物の関係



しかし、亀之丞が9歳の時、父親の井伊直満は、今川氏から謀反(裏切ること)を疑われて、殺されてしまいます。(一五四四年)

亀之丞も命を狙われました。追手が迫る中、家臣がせおう「かます(わらを編んで作った袋)」の中に隠れて、渋川にある東光院へ逃げていきます。



少しすると、渋川にも追手が来しました。井伊氏とつながりがある市田の郷(今の高森町)の松源寺へ、亀之丞を隠すことにします。

途中、弓矢で狙われましたが、かろうじて逃れることができました。





かめのじょう  
亀之丞がいなくなつてから  
すうねん  
数年が過ぎてても、行方は  
わ  
分かりません。

かな  
悲しんだ姫は、出家して  
しゅうけ  
僧侶(次郎法師)になります。



いっぽう  
一方、市田の郷へ向かつた亀之丞は、  
さと  
やまみち  
雪の山道に苦勞しながら、松源寺に  
しやうげんじ  
たどり着きました。

いちだ  
市田の郷を治めていた  
さと  
まつおかし  
松岡氏に守られながら、  
かめのじょう  
亀之丞は武士として  
ふし  
育てていきます。

しやうげんじ  
松源寺の和尚さんから  
おしょう  
学問を学び、知識を身に  
まな  
つけました。





松岡城の侍たちと、  
 弓や刀、馬乗りの稽古を  
 して、たくましく育ち  
 ました。

お千代に笛を教えてもらい、  
 ふるさを想って吹きました。  
 美しい音色が、市田の郷に響きます。



20歳になった亀之丞は、井伊谷へ  
 帰ることになります。(一五五五年)

無事にふるさとへ戻れたことに  
 感謝して、渋川の八幡社へ青葉の笛  
 を納めていきました。



あおば ふえ  
 「青葉の笛」

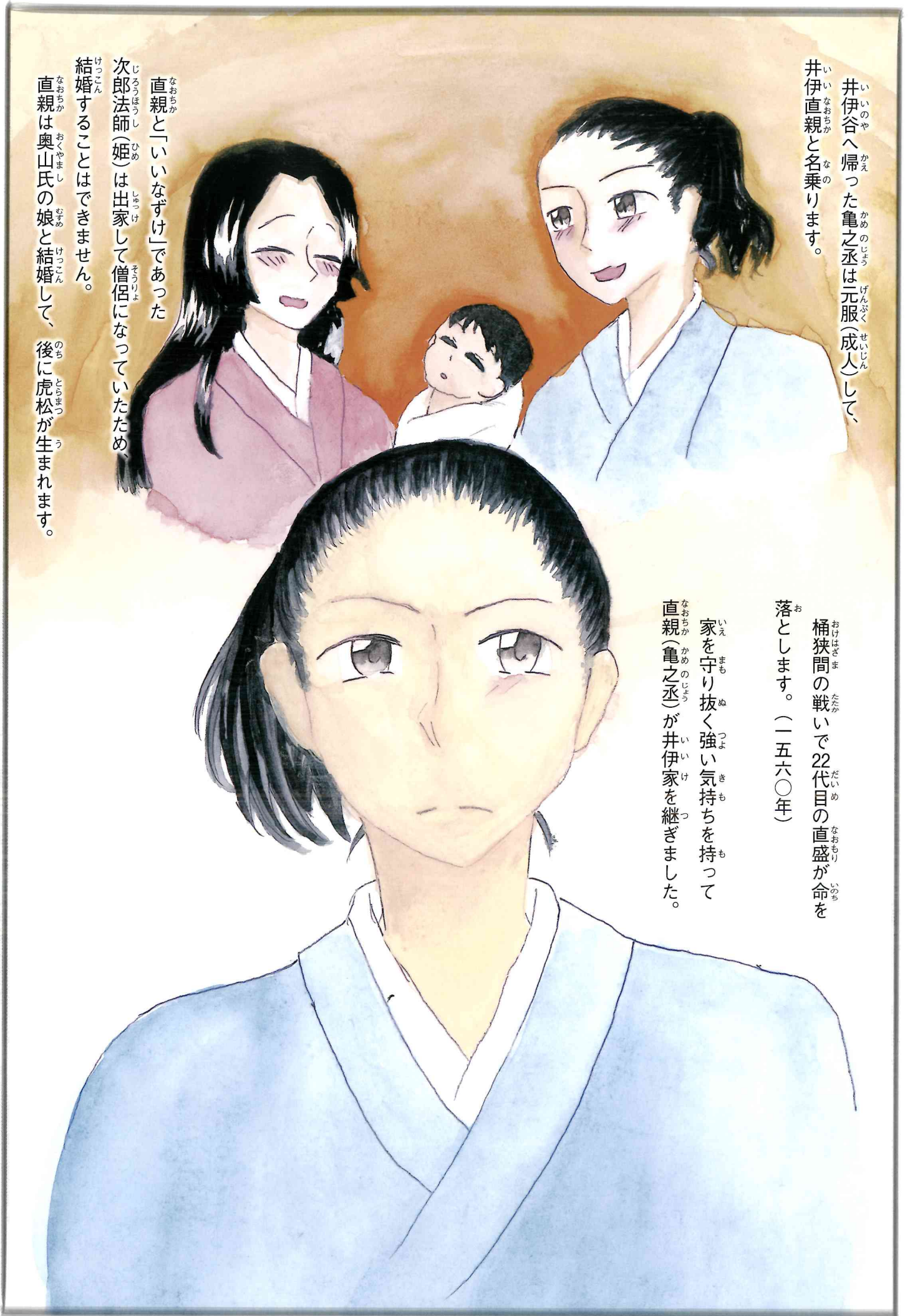
井伊谷へ帰った亀之丞は元服(成人)して、  
井伊直親と名乗ります。

直親と「いいなづけ」であった  
次郎法師(姫)は出家して僧侶になっていたため、  
結婚することはできません。

直親は奥山氏の娘と結婚して、  
後に虎松が生まれます。

桶狭間の戦いで22代目の直盛が命を  
落とします。(一五六〇年)

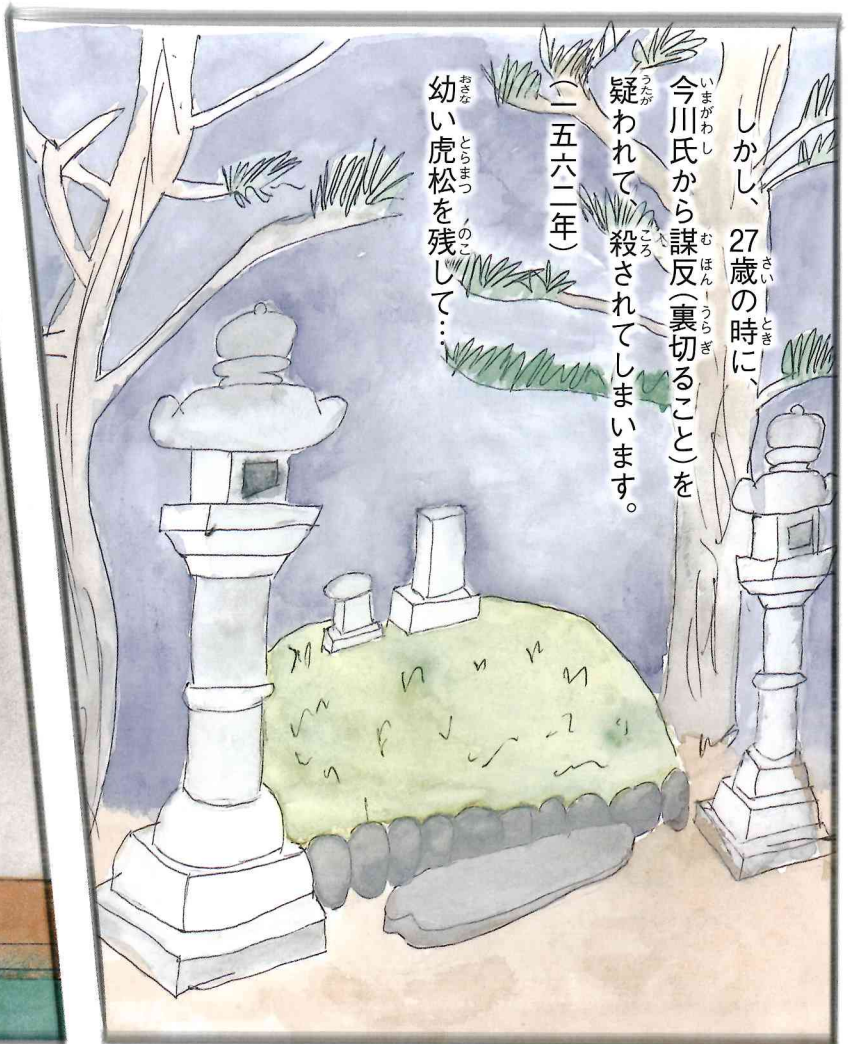
家を守り抜く強い気持ちを持って  
直親(亀之丞)が井伊家を継ぎました。





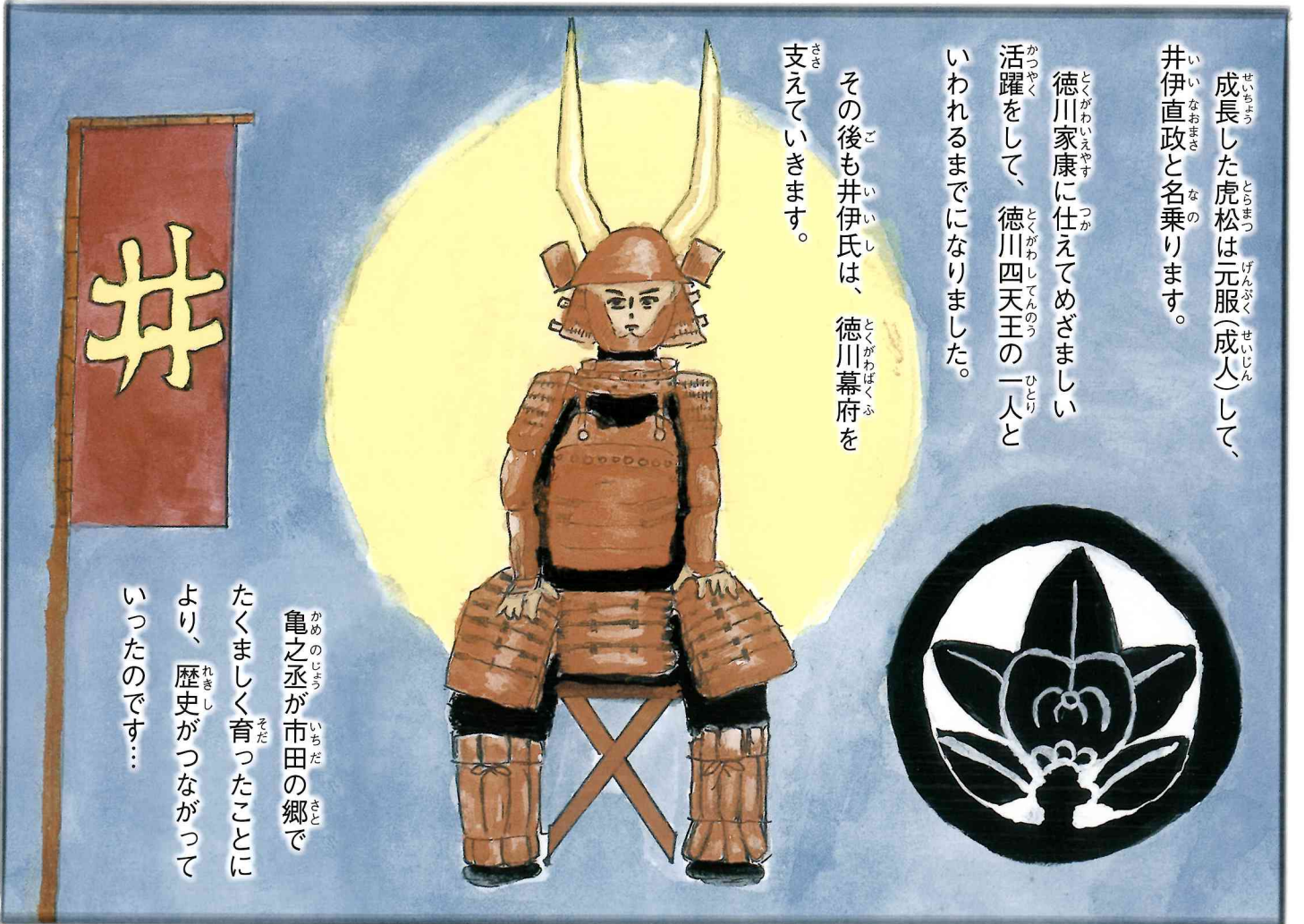
井伊家の跡を継げる男子は、  
虎松だけになってしまいました。

次郎法師(姫)は、  
直親(亀之丞)の想いを  
受け継いでおんな城主直虎と  
なり、井伊家を守ります。



しかし、27歳の時に  
今川氏から謀反(裏切ること)を  
疑われて殺されてしまいました。

(二五六二年)  
幼い虎松を残して...



成長した虎松は元服(成人)して、  
井伊直政と名乗ります。

徳川家康に仕えてめざましい  
活躍をして、徳川四天王の一人と  
いわれるまでになりました。

その後も井伊氏は、徳川幕府を  
支えていきます。

亀之丞が市田の郷で  
たくましく育ったことに  
より、歴史がつながって  
いったのです...

# 1、亀之丞にゆかりがある場所

しょうげんじ  
松源寺



亀之丞が過ごした寺です。松岡氏(殿様)がつきました。今の場所に建てられたのは江戸時代です。

まつおかじょうし  
松岡城址



松岡氏(殿様)が200年ほど住んでいた城です。敵から攻められにくい工夫がたくさんあります。

てらやま  
寺山



亀之丞が逃れてきた時に松源寺があった場所です(牛牧地区)。織田信長が攻めてきた時に焼かれました。

ときえき  
時の駅



亀之丞や井伊直虎、松岡氏に関する展示があります。亀之丞が吹いた青葉の笛のレプリカもあります。

## 2、亀之丞物語のその後……

松岡氏(殿様)は、徳川家康から改易(家をとつづす)させられました(1588年)。亀之丞の子どもである井伊直政(虎松)は、松岡氏の命を助けて、家来にします。父親である亀之丞を、松岡氏が守り、育てたことへの恩返しをしたのです。

現在も、井伊谷(浜松市)と高森町は、亀之丞を通じた交流が続いています。

## 3、物語の概要

町民の皆さんに、「たかもり」にある魅力を知ってもらうため、市田の郷(高森町)で育った亀之丞がつかない歴史や、ゆかりがある文化財を紹介する物語です。高森中学校美術部の有志が、学習を深めながら制作しました。

### 【発行】

発行者：長野県下伊那郡高森町下市田2183-1 高森町教育委員会

絵：高森中学校美術部有志、高森中学校美術部OB

監修：やくみつるさん、高森町歴史民俗資料館 時の駅

連絡先：電話：0265-35-9416 F A X：0265-35-2973

E-mail：bunkazai@town.nagano-takamori.lg.jp

発行日：平成29年11月18日

この物語は、史料を参考にしながら、地域の言い伝えやイメージを加えています。

平成29年度長野県地域発元気づくり支援金活用事業